

市区町村名	愛媛県東温市	担当部署	総務部 企画財政課
		電話番号	(089) 964-4401

1 取組事例名	
職員一人ひとりが取り組む 身近な業務の改善 ～行政かいかくん～	
2 取組期間	
平成26年度～（継続中）	
3 取組概要	
職員一人ひとりが行っている業務で、「こうしたほうがよいのでは?」、「これをしたら効率よくなるのでは?」など、普段思っていることについて、庁内イントラネットを利用して手軽に掲載・宣言することで、改善・改革情報を庁内で共有し、行革に対する職員の意識向上を図る。	
4 背景・目的	
過去に実施していた職員提案制度は年間数件の応募にとどまっていたため、制度の見直しや新たな提案制度を構築する必要があった。	
また、平成25年度から平成28年度までを推進期間とする「第3次東温市行改革大綱・実施プラン」の策定に携わった若手職員からは、「日頃から業務の改善に対する意見を持っていたが提案する機会がない」、「既存の職員提案制度のような大仰なものではなく、小さな改善を提案できる制度がない」という意見が多く、潜在的な需要がかなりあると予想された。	
そこで、「第3次東温市行改革大綱・実施プラン」では、第2次行革プランで掲げた1係1改革運動を1人1改革運動に発展させ、「身近な業務の改善」を推進項目として設定し、他の自治体の先進事例などを参考に職員一人ひとりが積極的かつ手軽に業務の改善（提案）に取り組むこととした。	
5 取組の具体的内容	
既存の庁内イントラネットシステムを一部改修して、職員が自らの業務や他部署の業務の改善を手軽に提案、情報共有ができる環境（機能）として、「行政かいかくん」を整備（導入）した。	
<p>1. 「行政かいかくん」のネーミング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆の課で取り組む ・ 日頃の発想を 開花 させる ・ 常に改善 改革 する <p style="margin-left: 200px;">} 行政 かいか くん</p>	
<p>2. 提案の方法</p> <p>(1) 庁内イントラネットシステムの「行政かいかくん」を開き、提案の種類ごとに設定する様式を、各自のパソコンにダウンロードする。</p> <p>(2) 様式に、改善内容や行革に賭ける思いを記述する。</p> <p>(3) 「行政かいかくん」の編集画面で概要等を入力し、先の様式を添付する。</p> <p>(4) 提案は、毎年5月末までに1提案以上行うこととし、庁内イントラネット稼働中であれば、</p>	

いつでも投稿することができる。

(5) 投稿された提案は、庁内イントラネットで自由に閲覧し共有できる。

3. 提案の種類（大きく分類して4種類）

(1) 気ままにポすっと（改善・改革の宣言）

職員自らの業務で、一般的な事務の見直しや改善により、現状の事務事業の向上が期待できると思われる提案を宣言する。

(2) こんなはどうですか？（他業務への提案）

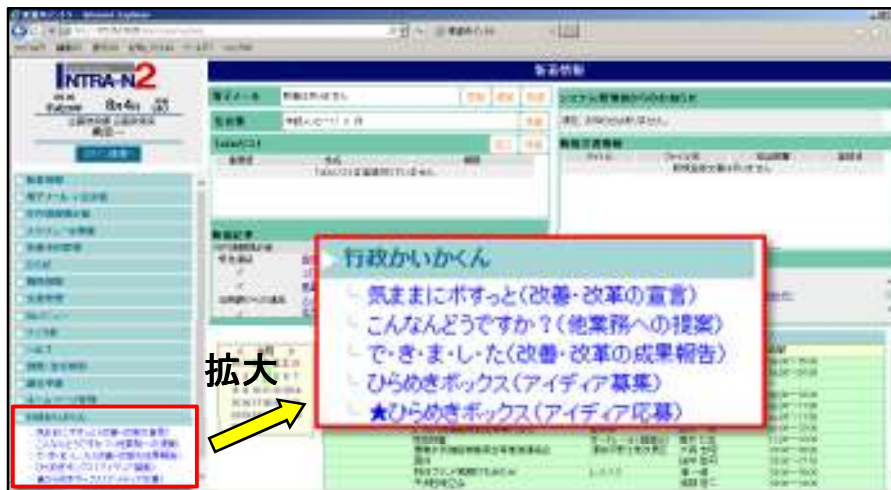
他部署に改善又は取り組んでほしいと思う提案を投稿する。事務局が取りまとめて担当部署に対応を依頼する。

(3) で・き・ま・し・た（改善・改革の成果報告）

自らの業務で取り組んだ身近な改善内容を、実績として取りまとめて掲載し情報を共有する。

(4) ひらめきボックス（アイデア募集・応募）

改善・改革したい業務はあるが、うまく解決方法がまとまらないため、職員から広くアイデアを募集する。また、募集案件について思いついた提案を投稿する。



庁内イントラネットの画面

The screenshot shows the registration form for '気ままにポすっと(改善・改革の宣言)'. It includes a search bar, a sidebar with navigation links, and a main form area with the following fields:

分類	経費削減
タイトル	
担当部署	企画政策係
担当者	玉置 圭一
キーワード	
概要	
ファイル	
掲載期間	2016年8月4日 ~ 2019年8月4日
登録者	圭一 (企画財政課 企画政策係)

Buttons for '登録' (Register) and '戻る' (Back) are at the bottom.

「気ままにポすっと（改善・改革の宣言）」登録画面

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

職員が毎日見ている庁内イントラネットシステムの一部を改修することで、思いついた時にいつでも、気軽に提案・情報共有できる環境を整備した。

また、この取り組みでは、他の職員を真似するなど、良いものは積極的に取り入れることを推奨しており、内容の軽重や根拠を問わないことで、行革への抵抗感を払拭し、更には、上司の決裁も不要とするなど、行革に職員全員で気軽に取り組んでいくこととしている。

7 取組の効果・費用

・提案件数

平成26年度 169件、平成27年度 124件、平成28年度 45件（7月末時点）

・職員の意識改革

職員が毎日、利用する庁内イントラネットシステムを活用したことで、常に職員が目にする機会を設けることができたため、職員一人ひとりの行革に対する意識改革に一定の効果があった。

・取組に要した費用

庁内イントラネットシステム改修費用 567千円

※既存システムの一部改修により、新規システムの導入と比較すると費用を抑えることができた。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

取組を始めた平成26年度は、150件を超える提案等があったが、その後は徐々に減少傾向にあり、職員一人ひとりが楽しんで取り組むことができるように、内容や運用の改善が必要と感じている。

また、この取組自体が、職員の負担とならないように、登録方法の改善やルールの見直しなどを行ない、より手軽に、そして気軽に提案できる環境を整えていく必要がある。

9 今後の予定・構想

今後は、提案がどう評価されたか、どうなったのかを示すなど、提案に対するアフターフォローを行ない、優秀な提案の表彰や人事評価制度の活用など、職員の処遇への反映についても検討し、職員の意欲の向上を図り、更なる意識改革に取り組んでいきたい。

また、職員が、より手軽に楽しみながら取り組んでいけるよう、更なる運用等の改善を検討していきたい。

10 他団体へのアドバイス

職員の積極的な提案を促すためには、職員が手軽に、気軽に、そして職員自身が楽しみながら、取り組むことができる環境を整えることが重要となる。